

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会
計算力学小委員会（第26期・第1回）
議事要旨

日 時：令和6年7月4日（木）9:00～11:00

会 場：遠隔会議（主催会場：東京大学越塚教授室）

出席者（敬称略）：

磯部大吾郎、植田毅、大出真知子、岡田裕、金田千穂子、越塚誠一、高木周、高橋桂子、土谷隆、坪倉誠、平野徹、藤原進

欠席者（敬称略）：

大島まり

配布資料：

- 資料1 議事次第
- 資料2 計算力学小委員会第25期第5回議事要旨
- 資料3 計算力学小委員会設置提案書
- 資料4 計算力学小委員会名簿
- 資料5 第13回計算力学シンポジウム報告
- 資料6 第14回計算力学シンポジウムについて

議事：

1) 前回議事要旨の確認

- ・資料2を用いて前回議事要旨案の説明があった。

2) 計算力学小委員会設立の経緯

- ・資料3および4を用いて、第26期計算力学小委員会の設立の経緯と委員名簿が越塚委員より説明された。

3) 役員の選出

- ・委員長に坪倉委員が選出された。
- ・副委員長に平野委員、幹事に土谷委員と越塚委員が指名された。

4) 第13回計算力学シンポジウム報告

- ・資料5を用いて越塚委員より報告された。
- ・日本学術会議講堂及びオンライン（Webinar）のハイブリッド開催とした。
- ・計算力学関連9学会より若手研究者の発表があった。
- ・特別講演として計算力学を拡張する新技術に関する2人の著名な研究者の特別講演および総合討論を行った。
- ・講演者は245名（講演者等を含む現地参加37名、オンライン参加201名）

5) 第14回計算力学シンポジウムについて

- ・資料6を用いて越塚委員より検討事項の説明があった。
 - ・幹事学会は JACM（岡田委員）にお願いすることになった。8月末までにプログラム作成を行う。
 - ・12/5（木）あるいは12/6（金）を候補とし、対面・遠隔ハイブリッドとして準備する。
 - ・日本学術会議の講堂等の予約状況を確認する。
 - ・第1部の各学会講演の若手研究者を各学会に依頼する。
 - ・若手研究者の紹介と司会は各学会の会長等をお願いする。
 - ・第2部の特別講演・総合討論のキーワードとして「スーパーコンピュータ『富岳』を用いた計算」を考える。
- 6) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- ・承認された。
- 7) 小委員会委員間のメールアドレス共有について
- ・承認された。
- 8) その他
- ・委員交代を希望する学会があり、対応することになった。

以上